

令和6年度  
教育に関する事務の管理及び  
執行状況の点検評価報告書

令和8年2月  
湯沢町教育委員会

## 教育に関する事務、事業の点検・評価

湯沢学園では、保小中一貫教育がスタートしてから、教育委員会、認定こども園、小学校、中学校の連携を深め、家庭、地域と協働して、保小中の連続性のある教育体制を目指し取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、開催の中止や規模を縮小してきました行事・イベント等は、令和6年度から概ね通常の開催となりました。

決算額は、児童福祉費 496,297 千円、教育費 504,987 千円となり町決算額に占める割合は 11.0%でした。

児童福祉費の内訳としては子育て総合支援費に 37,279 千円、児童クラブ運営費に 16,424 千円、認定こども園の運営管理費として 18,606 千円などとなっております。

教育費の内訳としては、学校関係では奨学金等就学奨励費 21,736 千円、小学校・中学校にかかる費用として学園管理費 156,710 千円、学園振興費 26,614 千円、学校給食事業費 127,136 千円となっております。社会教育関係は、公民館費 60,166 千円、うち全国童画展事業費 3,358 千円で、文化財保護費 18,578 千円のうち雪国館管理費に 15,734 千円、生涯スポーツ推進費 27,043 千円のうち湯沢町総合型地域スポーツクラブ「ユースポ！」の地域スポーツクラブ運営に 12,943 千円を支出しました。

### 1 教育委員会

#### (1) 教育委員

教育委員会の構成は、教育長、教育長職務代理者、委員 3 名で構成されています。教育長が第一義的な責任者であることと、町長が直接教育長を任命することで任命責任が明確化されています。

教育委員会は定例会議を毎月 1 回開催して教育委員会の各案件の審議をしました。

#### (2) 教育委員会事務局

教育委員会事務局では、教育課、子育て支援課、認定こども園で施策・課題対応を進めました。

#### ア 教育課

教育課は、小・中学校に関する運営及び施設の維持管理及び奨学金や就学援助等に関する事務や、公民館活動、生涯学習の推進、スポーツ振興、文化財保護等の事務を行いました。また、中学校部活動の段階的地域移行及び部活動数の適正化を検討、協議するための湯沢町部活動検討委員会を設置し、複数回会議を実施しました。

課の構成は、部長が教育課長、学校給食センター長及び公民館長を兼務し、教育係長1名、係員3名と会計年度任用職員2名、会計年度任用管理指導主事1名、会計年度任用校務員が3名の配置でした。また、地域交流センターに会計年度任用社会教育指導員1名を配置しました。

#### イ 子育て支援課

子育て支援課は、子育て支援関連業務について総合的に対応しており、また認定こども園、児童クラブ等の事務を行いました。

課の構成は、課長1名、係長1名、主任保育士1名、会計年度任用保健師1名、会計年度任用保育士3名で業務を行いました。7月以降は、会計年度任用保育士1名が産休・育休を取得し、児童クラブ職員や日々雇用の保育士で対応しました。

#### ウ 認定こども園

認定こども園は、園長1名、副園長2名、指導保育士3名、主任保育士6名、保育士8名、用務員1名、会計年度任用管理栄養士1名、会計年度任用事務員1名、会計年度任用保育士10名、会計年度任用保育補助6名で、こども園の運営に関する業務を行いました。調理業務は、委託となっています。

## 2 各課・係の点検

### (1) 教育課 学校教育関連

#### ア 湯沢学園（小・中学校）

保小中一貫教育が本格スタートして9年目、小中一貫教育が本格スタートしてから11年目となりました。

小・中学校の入学式を4月9日に時間別により開催しました。6年生の修学旅行（佐渡）は6月に、8年生の修学旅行（京都・奈良）は2月に予定通り実施しました。7月11日に学園として初めての実施となる引き渡し訓練を行いました。9月14日に小・中学校の体育祭を熱中症対策を行いながら実施しました。11月2日には湯沢学園教育フェスティバルを開催し、午前に小学校が学習発表会、午後には中学校が合唱コンクールを行いました。1月31日に新7年生入学説明会、4月4日には新1年生体験入学を行いました。3月3日に中学校の卒業式、3月24日には小学校の卒業式を行いました。

#### イ コミュニティ・スクール

学校運営協議会では、年5回の会議のほか、6月に文部科学省認定CSマイスターの小見まい子様を講師に招いて、町民・保護者の皆様と「模擬学校運営協議会」のワークショップを行い、どんな子どもたちに育ててほしいか、そのために自分たちにどんなことができるだろうかについて熟議をしました。これをもとに、8月22日に未来の湯沢学園・湯沢町と目指す子どもたちの姿について広く町民の皆様とともに熟議をするための機会として、4名前後のグループに分かれて

テーマについて話し合う拡大学校運営協議会を行いました。今後の湯沢学園が目指していく方向性について、多様な意見や視点をもつ保護者・町民の皆様とともに、より具体的に熟議を行いました。グループ協議後に発表を行い、熟議内容の情報共有を行いました。

#### ウ 学力・学習状況

全国学力・学習状況調査等の結果では、小学校、中学校の国語、算数・数学ともに全国平均を下回りました。特に中学校の数学は全国平均をかなり下回る結果となりました。学力向上は引き続いての課題です。

統合前からの課題となっている「自己肯定感」が低いことと、メディアへの接触時間が長いことは、引き続き取り組むべき課題です。

家庭と連携して、自分のよさを自覚して自信をもてるようにすることと、メディアと接する時間を減らして家庭学習の時間を確保することに努めると共に、日々の授業の質的改善を図ることで学力の向上につなげていきたいと考えています。特に姿勢を良くする等、学びの基礎を児童生徒に確実に定着させたいと考えています。

#### エ 体力の状況

「握力」や「上体起こし」「50m走」など8項目の調査結果を全国平均と比較すると概ね上回るなど良好な結果が得られていますが、県平均と比べると学年や男女別、種目による結果のばらつきがあり、県平均を上回っている状況にあるとは言えません。スクールバス登校等の影響も注視しながら学園生活や体育授業を通して改善を図っていきます。

#### オ 特別支援教育

小中学校における特別支援が必要な児童生徒の割合が増加傾向にあります。そのため、引き続き小学校に知的障がい3学級、自閉症・情緒障がい2学級、中学校は知的障がい学級が1学級減って1学級、自閉症・情緒障がい1学級を設置するほか、通級指導教室（言語通級、発達通級）を設置するとともに、介助員・相談員の確保に努めています。また、総合子育て支援センターにおいて、保小中一貫して支援する体制を継続しました。

#### カ いじめ・不登校状況

いじめは、小学校で16件、中学校で8件の報告がありました。学校は、困り感のある児童生徒に寄り添い、いじめ解消に向けて、個別指導を中心に学年集会などで指導しました。

不登校については、病気を除く30日以上欠席の児童生徒が、小学校で14名、中学校で13名報告されました。中学校の人数が増加しました。学校は、一人一人の状況を丁寧に捉え、家庭との連携を密にして登校への働きかけを継続しました。町教委でも、子どもの居場所づくりに努めています。

他に、児童生徒間暴力、対教師暴力、器物破損等の暴力行為は、小学校で10件、

中学校で2件の報告がありました。学校は、当該児童生徒と丁寧に対応し、家庭や関係機関と連携して解決に向けて粘り強く指導しました。

#### キ マグナ国際交流事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から4年間休止していたマグナ国際交流事業ですが、令和6年度から再開しました。姉妹都市生徒受入事業では、生徒10名、引率2名、計12名が、7月8日から18日まで湯沢町に滞在し、様々な交流や体験をしました。湯沢学園生徒海外派遣事業では、中学生5名、救済措置により参加した高校生が2名、引率2名の計9名が、7月27日から8月6日まで米国ユタ州マグナでホームステイにより、異文化交流等の貴重な体験をしました。

### (2) 教育課 生涯学習関連

#### ア 公民館事業

公民館映画の日では6月から翌3月まで月1回の計10回ホールにて上映会を実施し、延べ173人が鑑賞しました。5月25日には湯沢町出身のテノール歌手である笛田博昭氏のガラコンサートが開催され、230人が来場しました。「二十歳のつどい」は湯沢町公民館で8月14日に開催され、第2部も含め52名の参加がありました。9月8日には町内音楽愛好家によるふれあいコンサートが実施され、160人の方が来場・鑑賞しました。11月2～4日まで湯沢町総合文化祭を開催し、206点の作品が展示され、950人の来場がありました。

#### イ 公民館講座

長期講座では学習の講座が8講座、趣味の講座が6講座開催されました。

短期講座は4講座、子ども対象の短期講座は5講座開催されました。

#### ウ 図書室の運営

公民館図書室の利用は、年度末で登録者数は2,234名で、貸出は6,239冊でした。

魚沼定住自立圏構想による魚沼市との「図書館等の相互利用に関する協定書」を平成31年4月に取り交わし、すでに協定を締結している南魚沼市に加え、2市1町で相互利用が可能となっております。南魚沼市図書館との相互利用では、湯沢町民の南魚沼市図書館利用は、登録者957名、貸出2,102冊、南魚沼市民の湯沢町公民館図書室利用は、登録者55名、貸出220冊でした。魚沼市との相互利用では、湯沢町民の魚沼市図書館利用は、登録者4名、貸出0冊、魚沼市民の湯沢町公民館図書室利用は、登録者1名、貸出0冊でした。

#### エ 地区館事業

三俣・土樽・湯沢地区では、例年実施しているスポーツ事業や文化事業を継続し実施しました。コロナ禍前に運動会を開催していた地区では、令和6年度も開催は見送られましたが、朗読会やしめやきなど新たな事業を行いました。

今後も各地区館事業の継続を図り、地域のコミュニティ活動の活性化を推進していきます。

#### オ 全国童画展

第29回の表彰式・作品展は4月26日から5月6日まで湯沢町公民館において開催し、699名の方にご来館いただきました。第29回展覧賞・寄贈の作品展示を新潟ふるさと村でも開催しました。令和6年度に実施した第29回越後湯沢全国童画展作品募集には、全国から232点の作品をお寄せいただきました。審査会は2月に実施し、表彰式、作品展は令和7年度に実施することとなりました。

#### カ 文化財保護

町へ寄贈され7年目を迎えた新潟県指定文化財の三国街道脇本陣跡「池田家」には、4月から11月までの開館期間中に236名の方が入館されました。にいがた秋の文化財一斉公開事業の一環で11月2日～11月4日には予約不要の無料公開を実施しました。

歴史民俗資料館「雪国館」は令和6年1月にリニューアルオープンし、プロジェクトマッピングやデジタルサイネージなどを導入し情報の発信力向上を図っています。指定管理者である湯沢町観光まちづくり機構の運営のもと、魅力ある企画展等を計画し、引き続き入館者の増加に努めます。

#### キ スポーツ振興

スポーツ振興では、総合型地域スポーツクラブ「ユースポ！」に町のスポーツ関係を委託し、スポーツ推進委員会を中心として様々な事業が実施されました。

6月23日には「町民ソフトバレーボール大会」が開催され、9チームが参加しました。10月6日には「町民ソフトボール大会」が開催され、8チームが参加しました。5月～11月には「おやこでGENKI教室」が行われ、親子併せて延べ165名が参加しました。親子で触れあう機会の提供、子ども達に運動の楽しさをわかってもらえる場、大人の運動不足解消の場として役立っています。4月～11月には「たまにはみんなでウォーキング」が行われ、延べ90名が参加し町内や近隣の名所を歩き、楽しみながら運動を行いました。

また、令和5年度から中学校部活動の地域移行の運営主体を総合型地域スポーツクラブ「ユースポ！」に委託し、運動部、文化部の地域移行に向けて動いています。

### (3) 子育て支援課関連

#### ア 放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、指定管理者である社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会による運営で、預かり時間の拡充や長期休業のみの利用対応などのほか、サービスの充実を図っています。

今年度内の実利用者は、通年利用者が前年度から10名増の54名、長期休業のみ

の利用者が4名増の23名となり、合計77名となりました。職員1名増の4名、定員80名で受入れを行い、事業を実施しました。

#### イ 総合子育て支援センター

総合子育て支援センターは、専任の保健師と保育士が常駐していることで、相談業務等に迅速に対応できるほか、湯沢学園内にあることで、保健師や保育士、教職員との情報共有を図ることができ、支援が必要な園児・児童・生徒とその家庭に的確な支援を行いました。

ひろば事業では、育児講座、親カフェ、親子教室などの事業を実施し、広場も通常開放で実施しました。一時預かり事業では年間を通じて利用者が多く、事業内容を拡充し利用ニーズに対応しました。療育発達支援事業では、年長児対象の小学校生活を想定した就学準備教室「のびのび教室」を実施しました。

また、子ども家庭総合支援拠点では、増加傾向にある児童虐待事案への対応、特定妊婦への支援を行いました。

#### ウ 青少年健全育成、学園支援

青少年健全育成事業は、事務局を学園内の地域交流センターに置き、社会教育指導員を配置しています。青少年育成指導員を中心に「あいさつ運動」や各種行事での巡回や啓発活動、社会環境浄化活動（道路やトンネルにおける落書き消し）などを行いました。育成事業として5～3月の期間、月1回もの作り体験教室を放課後に実施しました。また夏休み期間には、サマー学習会・おんがくひろば・もの作りなどの体験教室を実施しました。

放課後の子ども居場所対応として、5月より毎週月曜の放課後に小学生は3時～3時45分、中学生は4時～5時までの学習の見守り活動を学習支援員さんと行っています。今年度より中学生の学習の見守り活動を新たに開設し実施しています。来年度も引き続き子どもの居場所対応を実施していきます。

学園支援では、平成30年度に立ち上げた湯沢学園支援コーディネーター連絡会を基として、学園支援コーディネーターが主体となり、授業・クラブ補助、通学路の見守りや花壇の整備、図書室の整理や環境整備、校舎清掃等の環境美化などの年間活動計画を作成し、支援活動を実施しました。

### (4) 認定こども園関連

#### ア 湯沢認定こども園

2歳児、年少児、年中児、年長児はそれぞれに、親子遠足、親子ふれあい遊びを行いました。0歳児、1歳児は、親子ふれあい遊びを楽しみました。8月に、年長児お楽しみ会を行いました。9月に、年長児が敬老会に参加しました。3歳以上児

クラスの運動会を湯沢カルチャーセンターで行いました。3歳以上児クラスの発表会では、学年ごとの発表にし、短い時間ではありましたが保護者等が来場され、園児の表現活動（踊り、劇あそび、歌）をご覧いただきました。夏は川遊びやプール遊びを行いました。冬は雪遊びを十分楽しみました。開園時から始めた、預かり時間の拡充（7時30分から19時まで）、休日保育（年末年始を除く全ての休日）などのサービスも保育士のシフト対応等の協力で実施できており、引き続きサービスの充実に努めます。

3月の卒園式は卒園児と保護者、来賓にも参加いただき実施しました。

入園児数は未満児の入園率が増加しており、今後もこの傾向は続く見込みです。

令和6年度入園児数（令和7年1月1日現在）

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
人数	11	25	16	41	41	42	176